

## 境内での参拝作法

### 拝殿で参拝

境内の歩き方  
参道の中央は神様の通り道

鳥居の前に立つたら「これからお参りします」という敬意を込めて脱帽し、軽く会釈をして鳥居をくぐります。

参道を歩くときは、中央は「神様の通り道」と避けて歩きます。

拝礼は「一拝一拍手一拝」の作法で行います。

拝殿前に進み、軽く一礼(およそ45度)した後、賽銭箱の前に立ち、神様にお願いする気持ちでお賽銭を上げます。  
それから鈴があれば、心を込めて鈴を静やかに鳴らします。  
つぎに拝礼をします。

### 手水舎では

独りの場合は、先ず右手に柄杓をとり、左手を洗います。柄杓の水は一度で左記のことを行います。

次に左手に柄杓を持ち替えて右手を洗います

次にもう一度右手に柄杓を持ち、汲んだ水を左手に受けて口を灌ぎます。直接柄杓には口をつけてはいけません。

最後に水を汲んだ柄杓を縦に持ち、その水を柄杓の柄に流し洗つてもとに戻します。

尚同行者がいる場合は、柄杓を持つともらい、両手を洗い、両手で水を受けて口を灌ぐ」とが可能です。

- ①両手を足の前に揃えた直立の姿勢から90度に体を深く下り頭を下げます。「これを一回行います。
- ②両手を胸の高さに上げて、右手を少し下げ拍手を二回打ちます。
- ③右手を元に戻し願を思い浮かべ心を込めて祈ります。
- ④両手を下ろし、再び90度に体を深く、頭を下げて一礼します。
- ⑤軽く頭を下げ(およそ45度)静やかにその場から退ります。